

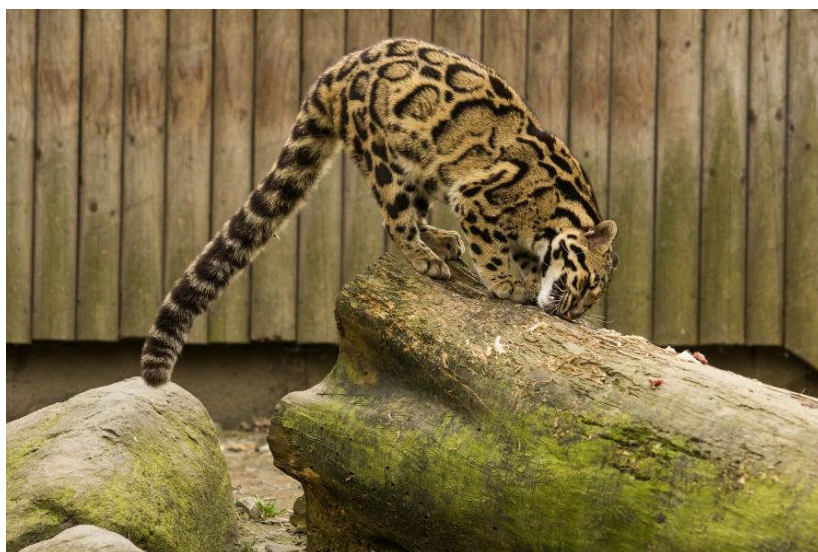
日本に新たな血統を導入

チェコ共和国のオストラバ動物園から ウンピョウが来園しました

よこはま動物園ズーラシアでは、9月24日(木)にチェコ共和国のオストラバ動物園からウンピョウが来園しました。今後は、個体の状況を観察しながら展示・繁殖に向け準備していきます。

新たな血統を国外から導入することは、遺伝的多様性を長期的に保持していくために非常に重要です。

ウンピョウは絶滅が危惧されており、当園では開園当初より飼育を行い、これまで6回の繁殖に成功しています。今後も世界の動物園と協力し、ウンピョウの種の保存に貢献していきます。



◀ 今回来園した
タヤ(メス)

ウンピョウの血統についてのズーラシアの役割

現在、日本国内では3園で計11頭のウンピョウを飼育していますが、個体の高齢化が進み新規個体の導入が急務となっています。当園は、(公社)日本動物園水族館協会の定める本種の種別計画管理者を担っており、平成27年7月22日にシンガポール動物園から来園した2頭に続き、今回、国外から新たな血統を導入したものです。

※獣舎内での取材はできませんが、動画・写真を取材用に提供します。



指定管理者:(公財)横浜市緑の協会



お問合せ先

よこはま動物園 副園長 渡辺 武志 Tel 045-959-1298

ウンピョウについて

和名	ウンピョウ
英名	Clouded Leopard
学名	<i>Neofelis nebulosa</i>
分類	食肉目 ネコ科
生態	インドネシア低地の熱帯雨林から、標高 2000m~3000mのネパール山脈のすそ野の落葉樹林帯までの、アジア地域一帯に生息。 体の模様は雲のような斑点があり、名前の由来になっている。 生息地である森林の減少、毛皮などを目的とした密猟により生息数が激減し、実質的総個体数は成熟個体が 10,000 頭未満と考えられる。 飼育下での寿命は 17 年の記録があるが、平均すると 13~15 年程度と言われ、野生では 11 年程度ではないかと考えられている。
ワシントン条約 (CITES)	附属書 I 絶滅のおそれのある種で取引による影響を受けている又は受けるおそれのあるもの
国際自然保護連合 (IUCN) レッドリスト	絶滅危惧種 (VU) 絶滅の危険が増大している種
国内飼育園館	旭山動物園、よこはま動物園、のいち動物公園
当園飼育頭数	オス 4 頭・メス 4 頭 ※来園個体含まず

今回来園した個体について

タヤ (メス) : 2013 年 11 月 22 日 オストラバ動物園生まれ 2 歳

■よこはま動物園ズーラシアについて

◆入園料：大人 800 円、中人・高校生 300 円、小・中学生 200 円、
小学生未満無料 (毎週土曜日高校生以下無料)

※よこはま動物園・金沢動物園共通年間パスポート 18 歳以上 2,000 円

◆開園時間：9:30~16:30 (入園は 16:00 まで)

◆休園日：毎週火曜日 (祝日の場合は翌日)、10 月は無休

◆交通：相鉄線「鶴ヶ峰」「三ツ境」駅、JR 横浜線・市営地下鉄「中山」駅から

「よこはま動物園」行きバスで 15 分、「横浜駅」から「よこはま動物園」行きバス 1 時間

◆URL：[http:// www2.zoorasia.org/](http://www2.zoorasia.org/)

◆住所：横浜市旭区上白根町 1175-1

◆問合せ先：045-959-1000